

決算特別委員会産業建設分科会

R 1. 9. 19 (木) 午前 10 時 30 分

9. 20 (金) 午前 10 時 00 分

9. 24 (火) 午前 10 時 00 分

9. 26 (木) 午前 10 時 00 分

場所：第 2 委員会室

事務事業評価：全員協議会室

1 開 議

2 事務局日程説明

3 付託議案審査（説明～質疑）

（審査日程：別紙）

※事務事業評価対象事業を除く。

- （1）第 16 号議案 平成 30 年度亀岡市一般会計決算認定（所管分）
- （2）第 19 号議案 平成 30 年度亀岡市地域下水道事業特別会計決算認定
- （3）第 22 号議案 平成 30 年度亀岡市土地取得事業特別会計決算認定
- （4）第 24 号議案 平成 30 年度亀岡市水道事業会計決算認定
- （5）第 25 号議案 平成 30 年度亀岡市下水道事業会計決算認定
- （6）第 60 号議案 平成 30 年度亀岡市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- （7）第 61 号議案 平成 30 年度亀岡市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

4 事務事業評価

- （1）バス交通関連経費
- （2）商工業振興対策経費
- （3）観光推進経費

5 討論～分科会採決

6 委員長報告の確認

7 その他

平成30年度決算事務事業評価資料(R1.9審査)

別紙 4

一般会計		款	総務費	項	環境交通対策費	担当課	まちづくり交通課
						目	交通安全対策費
対象事務事業名	バス交通関連経費					主要施策報告書	178～179ページ
目的	事業の目的は何か	JR亀岡駅や馬堀駅を起点に市街地周辺を運行する「コミュニティバス」、廃止路線の代替措置として運行する「ふるさとバス」、複数市にまたがりバス事業者が運行する「地方バス」など、市民の重要な生活交通の維持確保に努めるとともに、効果的かつ利便性の高い地域公共交通を推進する。					
手法・活動実績	目的達成のために行った手法は何か	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金支給 <input type="checkbox"/> その他()					
	目的達成のために行った活動とその実績は何か	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行(亀岡地区、篠地区) ・ふるさとバス運行(5路線13系統) ・交通空白地等地域生活交通事業補助金交付(東別院町地域主体型交通への補助) ・亀岡市地域公共交通網形成計画策定(平成31年3月策定) 					
成果	目的に対する成果は何か	<ul style="list-style-type: none"> ・JR等と連携したダイヤ編成や交通空白地等解消のための取り組み等を進め、コミュニティバス・ふるさとバスの利便性向上等を推進した。(年間利用者数 コミュニティバス:103,791人 ふるさとバス:124,856人) ・東別院町において地域住民が主体となって運行する地域生活交通に対して支援し、公共交通空白地域の解消に努めた。(年間利用者数:647人) ・「亀岡市地域公共交通網形成計画」は、平成31年3月で計画期間が終了した「亀岡市地域公共交通計画」に変わる新たな本市における公共交通の取り組みの指針となる計画であり、「地域に根ざした持続可能な公共交通」を基本理念として種々取り組みを推進する。 					
コスト	事業に係る経費は	内訳	金額	説明			
		コミュニティバス運行業務委託料	30,447,265				
		ふるさとバス運行補助金	75,853,000				
		交通空白地等地域生活交通事業補助金	1,288,000				
		交通網形成計画策定業務委託料	2,926,800				
		交通網形成計画策定にかかる経費等	1,020,917	会議開催、アンケート調査経費ほか			
		地方バス路線運行維持費補助金	6,708,090	地域間幹線への国・府・沿線市の協調補助			
	計	118,244,072					
事業に携わった職員数は	1.8人 ×@7,248,000=	13,046,400					
		※		合計	131,290,472		
財源	上記経費に対する財源(特定財源のみ)は	内訳	金額	説明			
		みらい戦略一括交付金	11,273,000	コミュニティバス(概ね1/2)			
		市町村運行確保生活路線維持費補助金	33,315,000	ふるさとバス(概ね1/2)			
		地域公共交通確保維持改善事業費補助金	1,463,400	交通網形成計画策定(1/2)			
計	46,051,400						
課題・方向性	今後の課題は何か	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域で課題となっている高齢者をはじめとする交通弱者の移手段の維持・確保。(地域主体型交通の導入促進) ・持続可能な公共交通の構築 					
	今後の方向性はどうか	市内交通事業者と連携・役割分担をしながら、市民の生活バス路線を維持確保するとともに、「亀岡市地域公共交通網形成計画」に基づき、地域に根ざした持続可能な公共交通の実現に向け、バス交通の維持や利便性の向上、交通空白地域等への対策等を推進する。					

※職員の平均人件費を参考数値として示している